

(第9回 情報システム学会 全国大会・研究発表大会)

ベストプレゼンテーション 特別賞 受賞の言葉

青山学院大学大学院社会情報学研究科

吉田智彦

このたびはベストプレゼンテーション特別賞という、過大な評価を頂き、大変光栄に思っています。正直なところ、このような賞を頂けるとは思いもせず、受賞者発表の際は驚きしかありませんでした。情報システム学会関係者の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

第9回全国大会・研究発表会では「SSMによる要求分析と情報システムの提案～小規模飲食店（A店）における実践事例」と題して発表を行いました。私は大学院での学びから、情報システム開発の上流工程において、要求を抽出する際には、ビジネスレベルから考え、ステークホルダー間で共通認識のある課題や問題に焦点を当てることが重要だと思いました。そこで私の研究では、異なる考えや価値観を持つ人々の「思い」を受け止め、グループとして一つの「思い」に集約させるソフトシステムアプローチの一つであるSSMを分析手法として用いました。そして分析参加者全員が腑に落ちた「思い」をコンセプトとした業務改善と情報システムの提案を行いました。

本研究は、私が所属する青山学院大学大学院社会情報学研究科宮川研究室の事例研究としてご報告させて頂きました。指導教員の宮川先生をはじめ、同研究室の坂口君、同研究科の先生方、そして分析調査を受けて頂いた飲食店（A店）様には大変お世話になりました。今回の受賞は多くの方のご支援によるものと受け止めております。

最後になりますが、研究発表会では多くの方から研究に対する貴重なアドバイスを頂きました。本当にありがとうございます。今後はさらに研究に力をいれていきたいと思っております。大会関係者の皆様に心から感謝致します。ありがとうございました。